

10 月 25 日： VN 指数は 1,000 ポイントに向かい反発

銀行、保険、鉄鋼セクターが相場を牽引し、VN 指数は火曜日に 5 日ぶりの上昇となった。

ホーチミン取引所では、VN 指数が 1.17% 高の 997.70 ポイントで取引を終えた。月曜日には 3.3% 安、前日までの 4 営業日で 7.4% 下落していた。そのため本日の反発は急落後のポジティブなしるしとなった。

流動性も改善し、7 億 5100 万株（前日比+15%）、12.6 兆ドン（同+4%）が取り引きされた。

銀行セクターは特に午後に入ってから上昇し、3% ほどの上昇となった。VN 指数への寄与度が大きい銘柄では、ベトコムバンク（VCB）+2.8%、ベティンバンク（CTG）+6.9%、BIDV 銀行（BID）+3.1%、軍隊商業銀行（MBB）+5.1%、アジアコマーシャル銀行（ACB）+4.6% といった銘柄が相場を押し上げた。

保険セクターも上昇。大型株ではバオベトホールディングス（BVH）、バオミン保険（BMI）、PVI ホールディングス（PVI）などは 4% 以上の上昇。小型株でも軍隊保険（MIG）、PVI 再保険（PRE）などが 3% 以上の上昇となった。

鉄鋼株の反発も相場の注目を集めた。ホアファットグループ（HPG）は 4.3% 高、ホアセングループは 7% 高とストップ高となり、ナムキムスチール（NKG）も 3.1% 高となった。

ロンベト証券のアナリストは、流動性の改善は相場下落を止めようとする投資家の動きを表している。このような動きから、1,000 ポイントを試すところまで回復する可能性があると予想した。

しかし、市場全体の心理は依然として悲観的であり、1,000 ポイントは上値抵抗線となってくる可能性がある。そのため、投資家は警戒感を高めながら相場の動向を観察する必要があると同社のアナリストは語った。

ハノイ取引所の HNX 指数は 5 営業日連続の下落、0.71% 安の 208.02 ポイントで取引を終えた。指数は 10 月 18 日以降で 10% 近く下落したことになる。

流動性はほぼ変わらずの 7800 万株、売買代金にして 1 兆ドンであった。

外国人投資家はまちまちの動き。ホーチミン市場では 850 億ドンの売り越しとなったが、ハノイ市場では 110 億ドンを買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。